今週（12月12日から12月16日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日を迎える週となった。当座預金残高は週初310兆円程度であったが、14日の医療保険関係の支払い、15日の年金定時払い、貸出増加支援オペのスタートにより326兆円程度まで増加した。無担保コールO/N物は、積み最終日に向けて日々強含む展開となった。無担保コールO/N加重平均レートは週初12日の▲0.052%から積み最終日となる15日には▲0.029%にまで上昇し、ビッドサイドが取り残る地合いとなった。出合いのレンジは、12日は▲0.083～▲0.01%、15日は▲0.04～0%であった。大手行については、12日は▲0.05%まで取り上がり、13日は▲0.04%台、14・15日は▲0.03%台まで取り上がるなど、先週とは調達スタンスが大きく変わっていた。地銀、証券業態は一部で▲0.01～0%まで取り上がる場面も見られた。週を通して無担保コール市場残高は7兆円台で推移した。16日からは新しい積み期間に入ったものの、ビッドサイドの調達意欲は強く、大手行から▲0.03%台の調達も見られた。ターム物は月内のショートタームで▲0.03%の出合いが見られたほか、試し取りから0.001%の出合いも見られた。固定金利方式による共通担保資金供給オペは15日に2W物で8,000億円がオフアーされ、結果は1,600億円（期落ち額1,510億円）と、札割れとなった。

●レボ市場

今週のGICは、週初12日のT/Nは、短国買入オペ等の要因があったものの、出合いを伴いながらレートが若干上昇し、▲0.10～▲0.085%の出合いで始まった。同日のS/Nでは、横ばい圏内の▲0.09%中心の出合いとなり、積み最終日等の要因があった13日のS/Nでも、▲0.09%中心の出合いとなったが、14日のT/Nではレートが強含む、▲0.06%の出合いも見られた。新積み期間入りした14日のS/Nは▲0.09%中心の出合い、15日のS/Nは短国3M物の発行日にあつたものの、売り手の資金調達意欲は弱く、▲0.09%中心と横ばいの出合いとなった。16日のS/Nも、国債の発行日にあつたものの、売り手の資金調達意欲は弱く、横ばい圏内の▲0.09%中心の取引となっている。SCは、新規・ロールオーバーともに幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では、2年債367～369回、5年債127～129回、10年債340～344回、20年債155～158回、30年債50～52回、40年債9回にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、一部に海外勢の動きも見られたものの、総じて様子見姿勢が強く、動意に乏しいマーケットとなった。新発の入札は、15日に3M物、16日に1Y物が実施された。3M物の入札は、一頃の需要がやや後退し、レートが上昇すると見込まれたものの、WI取引で▲0.42%と強めの出合いが見られ、結果は平均落札利回▲0.4196%、按分落札利回▲0.3925%と、前回の入札に続き過去最低レートを更新するなど強い決着となった。セカンダリーでは入札のような強いニーズは見られず、▲0.415～▲0.395%と小動きに終わった。16日入札の1Y物は、海外需要が少ないこと、短国買入オペの動向が不透明なことからレートの上昇が予想される中、WI取引こそ▲0.34%から▲0.40%まで買い進められる展開となったものの、結果は平均落札利回▲0.3388%、按分落札利回▲0.300%と概ね事前予想通りの決着となった。6兆1,968億円と少ない応札額は慎重姿勢を反映していたと考えられる。セカンダリーでは▲0.32～▲0.31%の出合いが見られた。

●CP市場

今週のCP市場は、年末資金需要の盛り上がりから石油、不動産、機械、ノンバンク等幅広い業態でまとまった額の年末調達が行われ、償還総額6,300億円弱に対して、発行総額は9,300億円弱と、発行超のマーケットとなった。引続き投資家の運用ニーズは底堅く、発行レートは、大型発行案件も含め、大部分が0%近辺で決着した。また、年越物ではオペを睨んだ買いも強く、マイナス圏での決着も散見された。13日にはCP等買入オペが、前回と同額の4,500億円を実施された。応札額は9,156億円と、前回の1兆366億円から減少し、平均落札利回▲0.004%、按分落札利回▲0.010%と、按分・平均ともに前回から低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レボレート(翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
12/12（月）	19,155.03	0.070	115.50	△ 0.052	△ 0.092	3,094,500
12/13（火）	19,250.52	0.080	115.18	△ 0.043	△ 0.087	3,115,600
12/14（水）	19,253.61	0.055	115.17	△ 0.034	△ 0.079	3,141,300
12/15（木）	19,273.79	0.075	117.65	△ 0.029	△ 0.090	3,238,500
12/16（金）	19,401.15	0.075	118.20	△ 0.037	△ 0.090	3,259,900

来週（12月19日から12月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
12/19 (月)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 7-9月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 11月の貿易統計(財務省 8:50)				
12/20 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)				
12/21 (水)		TB3M 44,000億円 12/26発行	流動性供給 5,000億円 12/26発行		11月の米中古住宅販売
12/22 (木)					7-9月期の米GDP確報値 11月の米個人所得・消費支出 11月の米耐久財新規受注
12/23 (金)	天皇誕生日				11月の米新築一戸建て販売件数 7-9月期の英GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/19 (月)	▲ 2,600	▲ 4,000	▲ 6,600	全店共通 CP買入 国債補完	▲ 1,500 ▲ 300 200	1,600	0	▲ 6,600	TB3M発行▲44000償還40600
12/20 (火)	▲ 4,000	60,000	56,000	国債買入		3,900	3,900	59,900	TB1Y発行▲25000償還3800 5Y発行▲24000償還50600 10Y発行▲24000償還81300 変動15Y償還4500 20Y発行▲11000 30Y発行▲8000 エネルギー対策借入▲5000期日5000(見込み)
12/21 (水)	▲ 5,000	▲ 3,000	▲ 8,000				0	▲ 8,000	国有林野事業借入▲600期日600
12/22 (木)	▲ 5,000	7,000	2,000	社債買入 被災地支援		1,300 100	1,400	3,400	交付税借入▲10500期日10500
12/23 (金)	天皇誕生日								
週間合計	▲ 16,600	60,000	43,400	—	▲ 1,600	6,900	5,300	48,700	

12/19は日銀予想、12/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み前半ではあるものの、年末に調達を控える先が前倒しで調達することも予想されるため、無担保コールO/Nレートは然程低下しないと予想される。20日には国債の大量償還・利払いが予定されている。

短国市場は、イベントが少なく、週前半は閑散なマーケットが予想される。21日に3M物の入札が予定されており、海外勢の需要が一服するかどうか注目される。短国買入オペは19日と22日に実施されると見込まれる。

CP市場は特段のイベントが無い中、月末を越えるものに需要が集中すると見込まれる。

主要なイベントとしては、19日～20日に日銀金融政策決定会合、22日に7-9月期の米GDP確報値、23日に7-9月期の英GDP確報値が挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入